



# 立川談春

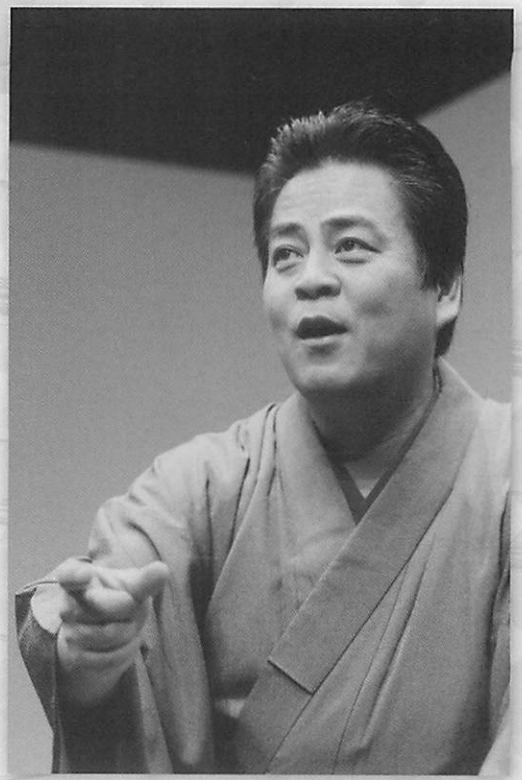
## 立川談春独演会 2013

お問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (全日10:00~19:00)

[主催] サンライズプロモーション東京 [企画制作] オフィスフラジール / サンライズプロモーション東京

【プロフィール】  
たてかわ だんしゅん  
**立川談春** (落語家)

1966年、東京生まれ。1984年、17歳で、立川談志に入門。1988年、二つ目昇進。1997年、真打に昇進。「国立演芸場花形演芸会大賞」を始め、数々の賞を受賞。  
古典落語の名手で独特の語芸で魅せる斬新さは注目を浴び、「新世代の名人」と評され、独演会は常に満員。東京では、今最もチケットが取れない落語家のひとりとして、若い世代やクリエイターからの支持も厚い。落語以外でもマルチな才能への評価も高く、2008年には談志との「家族以上」の師弟関係や落語家前座生活を綴った破天荒なエッセイ「赤めだか」を執筆。第24回講談社エッセイ賞を受賞。  
2006年、七日間連続で八回の独演会を開催した「談春七夜」を圧倒的なスケールで行い、周囲を驚かせた。2008年、6月28日に東京・歌舞伎座にて、師匠・談志との親子会を実現させ、談志の十八番で有名な「芝浜」を披露。談志の芸を見事に継承したと絶賛された。  
同年、12月25日には、「さだまさし」が日本一愛し、憧れ続けた大阪・フェスティバルホールにて、ホール史上初の独演会を行い、見事成功を収める。  
2009年、1月4日に放映された「情熱大陸」に取り上げられ、大きな話題を呼ぶ。同年から2010年3月に掛けて開催された25周年記念落語会では全国を回り、ツアーファイナルでは、閉館直前の東京厚生年金会館にて、「たちきり」を演じ、昼夜4000名以上の観客を沸かせた。  
2010年から2012年の3年連続で、東京・成城ホールにて、全てが根多おろしの独演会「アナザーワールド」を開催し、現状に満足する事無く、新たな挑戦を続けている。  
2012年は、アナザーワールドの他、大阪・神戸で毎月独演会を行う「12ヶ月連続独演会」。福岡では隔月の年6回。札幌は年4回など、通常では、およそ考えられない異例のスケジュールで、全国各地にて独演会を行い、その回数は、この年だけで100本近くとなる。同年6月30日には、女性誌「CREA」が企画主催した初の落語会「CREA寄席」への出演等、様々なアーティストやミュージシャン、クリエイターやメディア等、落語以外の多方面からも多くの注目を浴びている。



落語界の天才・奇才である立川談志。  
そんな偉大な師匠を、高校生で生涯の師と決め、  
その決断を下した自分を「師匠選びも芸の内」と言い切る勝気な気質。  
「怒りが無いと、前に進めない」と言う攻めの姿勢。  
そして、「怒られるより、誉められる方が怖い」と言う、  
常に自分の芸に冷静沈着な判断をする厳しさを持ち合わせる男。  
——それが立川談春である。

自叙伝 「赤めだか」

サラリーマンより楽だと思った。とんでもない、誤算だった。

「赤めだか」には、落語家になろうと決意したきっかけ、師匠・立川談志への憧れや弟子としての愛情、落語家の修業を始めてから出会った多くの人々との交流など、落語家前座人生が綴られている。その厳しい修業を経て、二つ目、そして真打ちになるまでの体験がここには書かれているが、この本を書いたそもそもの動機が「談志のすごさを今残しておかなければ」というもの。その言葉どおりに様々なエピソードによって談志のユニークかつ破天荒な人物像が浮かび上がってくる。そしてそんな談志の無理難題や芸の厳しさに耐えて次第に芸人として成長していく様子が、時に笑いを、時に涙を誘いながら確かな文章によって書かれていく。2008年には、講談社が主催するエッセイを対象とした文学賞「講談社エッセイ賞」を本作にて受賞した。「赤めだか」は落語という伝統芸能の世界での修業の内幕に加えて、人を楽しませ、幸せにすることへの深い洞察がこめられた一作だ。



**10月6日(日)** 開場14:30  
開演15:00

**10月11日(金)** 開場18:30  
開演19:00

**10月25日(金)** 開場18:30  
開演19:00

**戸田市文化会館**

[共催] 戸田市文化会館「戸田市文化会館友の会対象事業」

**千葉市民会館・大ホール**

[共催] (公財) 千葉市文化振興財団

**鎌倉芸術館・小ホール**

**チケット発売日**

**9月8日(日)**

午前10:00

[戸田公演]

¥3,800/A¥3,000(税込)

[千葉・鎌倉公演]

全席指定¥3,800(税込)

※未就学児入場不可

●サンライズオンライン <http://www.sunrisetokyo.com>

●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 戸田=428-209/千葉=428-213/鎌倉=428-218]

●ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード: 戸田=37795/千葉=37796/鎌倉=37797]

●イープラス <http://eplus.jp>

(戸田公演のみ) ●戸田市文化会館 048-445-1311

(千葉公演のみ) ●千葉市民会館 043-224-2431

●千葉市文化センター 043-224-8211 ●千葉市若葉文化ホール 043-237-1911

●千葉市男女共同参画センター 043-209-8771 ●京葉銀行文化プラザ 043-202-1790 ●千葉市美浜文化ホール 043-270-5619

【お問合せ】サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (全日10:00~19:00)